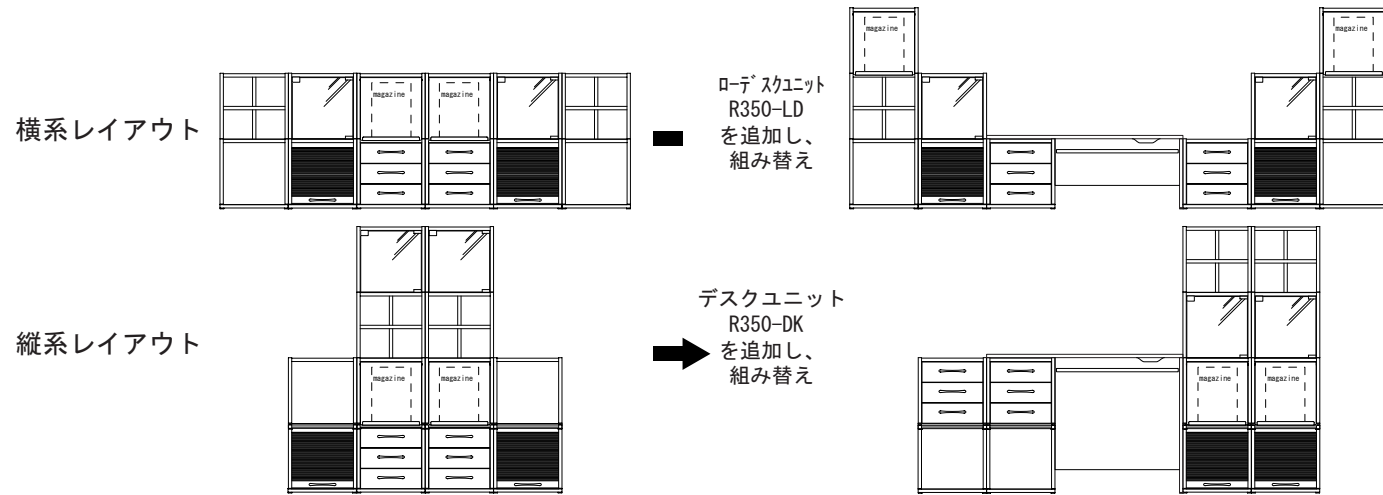
Cube-compo.　ベースユニット取扱説明書

R350-BS　木415-700
白415-680

20081225

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

キューブコンポ　バリエーションと組み合わせ例

キューブコンポには以下のバリエーションがあり、収納の内容によって組み合わせて様々な要望にお応えします。

警告 ●廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意
●火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
●棚板には登らないでください。棚板がはずれて転倒したり、壊れてケガをすることがあります。
●棚板に15kg/枚(等分布)以上のものをのせないでください。棚板が破損してケガをすることがあります。
●危険物（壊れ物、毒物劇物等を含む薬品類、生き物など）を収納しないでください。人体や衣服を傷つけることがあります。
●各部のネジ類がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてケガをすることがあります。
●異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。
●用途以外に使用しないでください。事故やケガをすることがあります。

■一般的ご注意

・直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
・移動するときは２人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
・高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
・棚板等の上に水などをこぼしたら、直ちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれたりすることがあります。
・換気励行のお願い
製品購入時、化学物質の発散を感じることがあります。暫くの間は、換気を十分行うよう心掛けてください。また、室内が著しく高温多湿（気温28度、湿度50%超）になる場合には、窓を閉め切らないか、強制換気を行ってください。

品質表示

■外形寸法
R350-BS　木415-700/白415-680
幅366×奥行き400×高さ25mm
■構　造　材　　木質繊維板（パーチクルボード）
■表面加工　　薄膜メラミン樹脂化粧板
■取扱上の注意
・直射日光又は暖房器具などの熱を避けてください。
・据え付けに際し、湿気の多いところを避け、アジャスターの調整で書庫を水平に設置してください。

表示者　プラス株式会社　ガラージ事業部
東京都千代田区三番町６−１４

MADE IN TAIWAN

お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。
※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター／Tel.0120-331-753（9:00〜18:00　祝日、年末年始を除く）

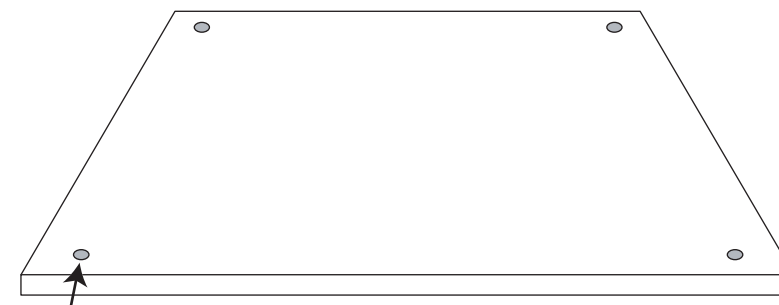
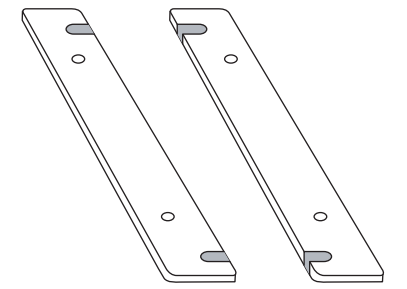
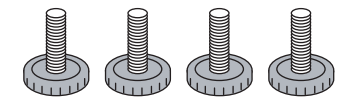
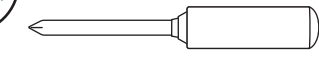
Garage

Cube-compo.　ベースユニット 組立説明書

R350-BS　木415-700
白415-680

20051027

組み立ての前に必ずお読みください。不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。
必ず２人以上で組み立ててください。
梱包を開封する際は、カッターなどで本体をキズつけないよう十分ご注意ください。

注意
●工具の取り扱いは十分ご注意ください。
●組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
●組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
●組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
●組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
●組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。

マーク説明

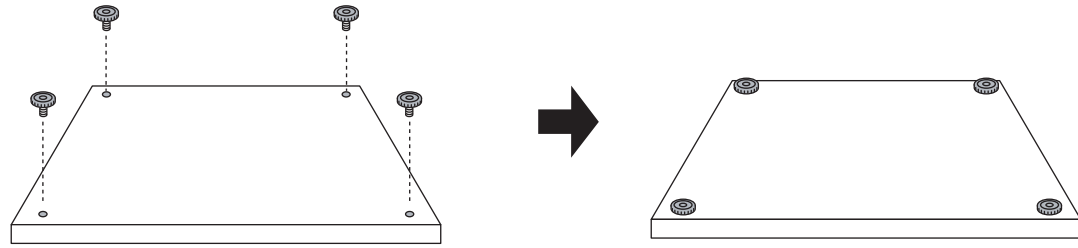
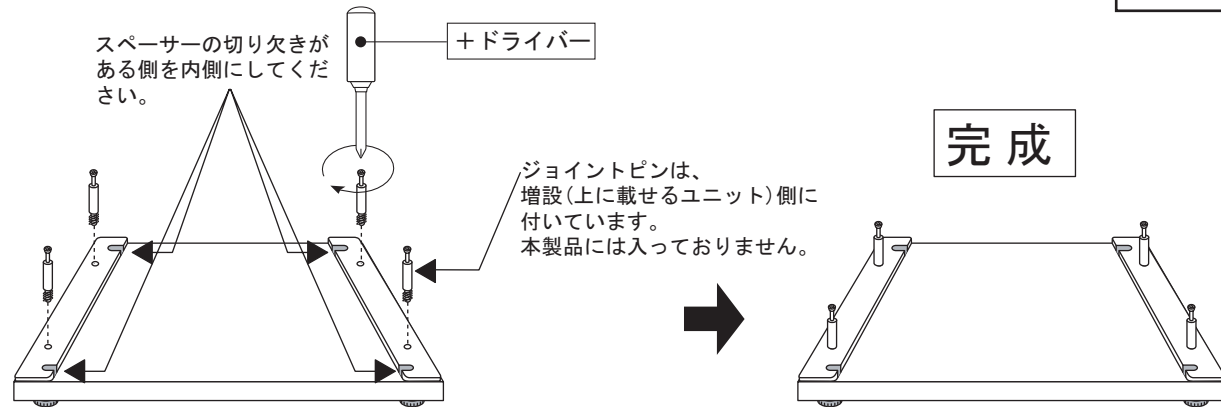
注意

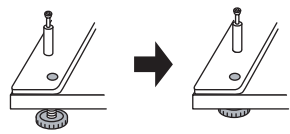
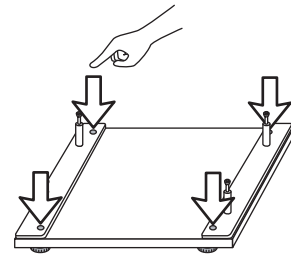
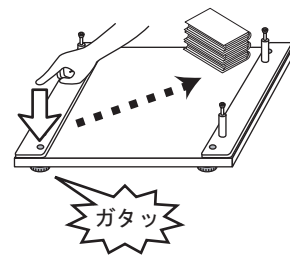
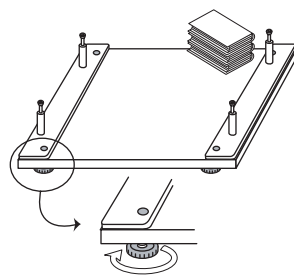
敷物敷く

２人で作業

裏返す

+ドライバー

❶ 底板にアジャスターを取り付けます。

❷ ❶を裏返し、スペーサーを取り付けます。

❸ 完成したベースを設置場所に移し、アジャスター調節をします。

①床の上にゴミがないか確認してください。
底板のアジャスターを全てしめ込みます。（軽くしめてください。しめすぎると後で調節がしにくくなります。）

②ベースを設置する場所に置き、アジャスターのある部分の上にあたる底板の表面を順に押してガタツキをみます。

③ガタツキがあった位置の反対側に重しをのせます。（重い本や水を入れたペットボトル等）

④ガタツキのある側のアジャスターをゆっくり回します。床にこすれて抵抗が強くなる所まで回します。

⑤ガタツキをもう一度確認します。
ややガタツキが残っているようなら、アジャスターをさらに半回転回します。